



愛と復興

議会だより

只見

■主な内容

6月会議 一般会計1億7,000万円を追加補正 …	2
国保税改正 賛否分かれるも原案可決 ……………	5
常任委員会の活動報告 ……………	6
視察研修報告・南会津郡議員大会開催 ……………	7
議会全員協議会における調査活動報告 ……………	8
一般質問 ……………	10
聴かせてくんつえ 議員の突撃インタビュー ……………	19

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報特別委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



みんなで楽しくおやつタイム

6月17日の放課後、只見小学校1年生から5年生13人で青少年旅行村を散策し、自然とふれあいました。

# 7,000万円を追加補正!

## 克雪対策事業補助金

+700万円(25件分増額)

予算総額 2,700万円(85件分)

住宅屋根の改良、融雪施設の設置など、克雪のための設備資金の利子を補給する克雪対策事業補助金の追加補正を可決し、合わせて2,700万円の予算となりました。

## 小規模特別養護老人ホーム 道路測量設計委託他

+1,200万円

予算総額 2,648万円

長浜地区に建設予定の小規模特別養護老人ホームに係る道路測量設計費、用地買収予算を追加補正し、可決しました。

### 目黒町長からの平成24年度の出納閉鎖の結果報告概要

〈24年度一般会計決算〉

実質収支1億8,100万円、うち財政調整基金へ1億円積立、残余8,100万円を翌25年度へ繰越

6月13日から19日までの7日間、定例会議が開かれ、目黒町長から平成24年度の出納閉鎖の結果を含めた報告がありました。

これに基づき提案された一般会計補正予算1億7千万円の内容は、歳入で、前年度繰越金の他、町税、諸収入が増えたことによる補正、歳出で、行革審議会の発足や

雪対策関連事業および人事異動に伴う人件費の補正などで、予備費には9千4百万円追加補正されました。その他、毎年6月に審議される国保税率の改正議案など、提案されたすべての議案を原案の通り可決しました。ここでは、一般会計補正予算歳出の中からいくつかを取り上げ、内容を要約してお伝えします。

# 6月定例会 第2回会議開催

# 一般会計1億 歳入・歳出

## 行政機構改革 審議委員報酬

**新規** 22万3,000円

現在の「行政改革大綱」(町が効率的な行政を進めるための指針)は、今年度でその期間が終了となるため、来年度から今後10カ年の新たな指針を作る行政改革審議会委員報酬を可決しました。

## 除雪支援保険 事業補助金

**+2,400万円**

**予算総額 3,000万円**

冬の高齢者世帯の生活を守る除雪支援事業を請け負う新規事業者の申請増加により、除雪機械購入補助金の追加補正を可決し、当初予算と合わせ3,000万円の予算となりました。朝日地区に新規事業者が増え計24事業者の予定です。

## 会津只見考古館 屋根の修繕

**新規** 60万円

豪雪によっていたんだ屋根の修繕予算を可決しました。

## 災害弔慰金

**新規** 500万円

昨年の記録的豪雪により被害にあわれ亡くなられた方々への災害弔慰金が上程され、可決しました。

### 用語解説

実質収支……収入から支出を差し引き翌年度に繰り越しできる財源

財政調整基金……計画的な財政運営をするための預金

出納閉鎖……地方公共団体の会計処理において、当該年度の歳計現金(歳入歳出に属する現金)の移動を全て終了し、出納を完結させること

# 災害復旧事業など翌年度に繰り越す



林道が崩壊し容易に近づけない黒谷ゴムダムの様子  
ヘリコプターによる豪雨災害の被害状況視察時に撮影

地方公共団体の予算は、翌年度に繰り越して使用することができないと法で定められています。特別の事情で年度内に工事が完了することができない場合、その例外として翌年度に繰り越して経費の支出ができるものとしています。

只見町では、新潟・福島豪雨災害の影響により予定されていた事業が年度内にできなくなったもの、災害復旧事業が集中したため、作業員や資材の不足などで年度内に工事ができなかったものなどが6月会議において報告されました。その一部を紹介します。

## 23年度より25年度に繰り越された事業

事業や箇所	繰越額	理由
町道真奈川線整備事業	589万円	災害復旧事業を優先させたため年度内完了が困難となった。
農地農業用施設災害復旧事業 (坂田・只見・蒲生の農地)	4,210万円	作業員、資材等の不足、他事業との調整により年度内完了が困難となった。
林道災害復旧事業（塩沢線、小塩・塩ノ岐線他）	7,290万円	同上
公共土木災害復旧事業（楢戸橋、町道黒谷三号線）	1億9,770万円	同上

# 企業誘致および立地促進条例を可決

## —— 事前の土地の確保も重要

本条例は、只見町内への企業誘致を促進するため、必要な奨励措置を講じ、雇用機会の拡大と産業振興を図るために策定された条例です。

町当局は当初、建築面積500㎡以上という面積要件を条例に入れて提案してきました。しかし、そのような大規模な建築物を必要とする業種は製造業が主であり、近年では特に大きな施設を必要としない業態も増えてきているなかで、

今後町が誘致を進めるにあたり企業業種の幅を狭めることにならないか、面積要件を外すことはできないか、との議論を重ねました。結果、この面積要件を外した上で、6月第2回会議で本条例が提案され、可決に至りました。

なお、質疑では現在策定中の「只見町土地利用計画」に将来の企業誘致を想定した土地について検討すべきとの意見が出ました。

# 国保税改正

## 町当局より一人当たり 平均5,000円の増額改正を提案

### 賛否分かれるも原案可決!

国民健康保険税は、被保険者の皆さんが病院にかかったときの医療費に充てられる貴重な財源ですが、その財源を負担し合う保険者の減少や医療費の増加などで増税が必至の状況にあります。

国民健康保険税は、基礎税額と75歳以上の後期高齢者を支える支援金を合算したものが税額となり、40歳から65歳未満の方には介護分も加算されます。

#### 町当局が示した改正案

- ① 医療費の増などから基礎税額は多少増額が必要であること。
- ② 黒字である後期高齢者支援金分の税率は下げる。
- ③ 黒字である介護納付金分は税率を据え置く。

これら三つを調整し一人約5,000円の増額改定案が示され、質疑・討論を経て賛成多数で原案のとおり可決しました。

#### 質疑応答

##### 無理な取り立てはしていないか?

**問** 国保税の徴収において、保険証の取り上げや無理な取り立てはしてないか?

**答** 滞納者には短期の保険証を発行している。個別の納税相談も行っている。

**問** 高額医療費の増えた原因究明、対策はされているか?

**答** 数件の高額療養費の世帯がある。町として、個人個人に指導を行っている。

#### 反対討論

山岸フミ子議員

国保税増額をするにあたり、その理由として高額医療費が増えたこと、また平均年収がアップしたことが挙げられた。

災害復旧に関係する事業などにおいてはアップしたと思われるが、関係がない町民も多数おられあくまで平均である。その中で、特に国保税の7割軽減世帯への税率アップを含む、本改正案には納得できない。基金を取り崩しても据え置くべきであり、当案には反対する。

#### 賛成討論

目黒仁也議員

被保険者の減少、医療費の増大、交付金が約5,000万円減額する見込みのなかで、住民負担を抑えるぎりぎりの提案だ。医療費削減を目指す新たな構想もスタートしているなど今後の対策も尊重し賛成する。

# 常任委員会の活動報告

## 総務厚生常任委員会

### 新庁舎建設に関する調査

役場新庁舎の建設については、基本設計を行う業者が全国34社の中から



高知県梼原町の役場庁舎の視察状況

ら1社が決定した段階で、設計が決定されたわけではありません。その基本設計は、9月末まで行うこととなっており、今後、積雪対策など、様々な視点から規模や構造を検討し、設計に反映させる必要があります。町当局と当委員会では、参考までに木材を多用した庁舎で有名な高知県梼原町の役場庁舎を視察いたしました。今後さらに、住民の利便性や省エネルギー対策、災害時の多目的利用などの検討も重要との委員会の見解を取りまとめ、報告いたしました。

### 只見総合開発センターの再利用に関する調査

開発センターについては、「再利用を検討すべき」という委員会の意

### 只見町企業誘致および立地促進条例に関する調査

町当局から提案された本条例については、誘致および立地促進奨励支援の内容が企業にとって魅力的なものであるのかについて議論しました。結果として、近隣町村ではすでに実施されているが、当町の特徴を出せるような内容を十分に検討し進めべきである。奨励制度の概要については、面積要件を緩和し、幅広い企業が取り組めるような条件とすべきであると意見を付しております。なお、町当局としては、本条例の目的を遵守し、取り組む姿勢を明確に整

## 経済文教常任委員会

見を踏まえ、町当局では、再利用のための耐震補強を含めた改修工事予算を調査し、その結果について当委員会に報告がありました。これは、重要案件であるため、今後さらに議会全員協議会で議論することを当委員会として結論づけ、報告いたしました。

(全員協議会の記事を参照)

理すると共に、多方面にわたり有効活用を図りたい旨、報告いたしました。



杉沢に誘致された(株)ヒロタテクノ

# 活動報告ピックアップ 視察研修報告

## 環境衛生組合視察研修

6月4日、長野県山形村において「一般産業廃棄物最終処分場」を視察してきました。現状では、他県の処分場へ運搬して処理していただいているものの、基本的に各自治体が自主処理するように勧告されているため、独自の処理場を持つことは急務となっております。

従来の処分場はオープンエア（屋外）型処分場ですが、山形村は日本で初の「クローズド（屋内）型処分場」を設置した自治体で、クローズド型として国内初の国庫補助対象となりました。環境への配慮や豪雪地帯というこ

ともあり、南会津地方ではこのクローズド型処分場を検討中のため、こちらを視察しました。屋内施設ということもあり、満杯になった施設は、後に運動施設や水耕栽培の施設等として有効活用できます。

今後は、具体的にどの町のどの場所にどのような施設を作るか、という議論に入っていくこととなりますが、こうした施設は常に住民に疎まれる傾向にあるため、どこに施設を作るのか、といった問題だけでも多大な難しさを伴う用地選定、導人となることが予想されます。

## 議会運営委員会視察研修

**視察日時** 平成25年5月23日～24日

**視察目的** 議会機能並びに議会運営の充実を図るための施設整備に関する調査

調査

**視察箇所** 山形県西川町議会、大石田町議会、山辺町議会、飯豊町議会

**視察内容** 各町村議会とも、専用階を設け議会審議に集中できる環境を整えている。只見町議会においても、集中審議できる環境を備えた施設整備を図っていくべく、調査研究していきます。

各町村議会とも、専用階を設け議会審議に集中できる環境を整えている。只見町議会においても、集中審議できる環境を備えた施設整備を図っていくべく、調査研究していきます。

下郷町

## 第64回 南会津郡議員大会開催

南会津郡議員大会が下郷町で開催されました。只見町から3件の要望を提案しました。

### ◆河川流水占用料の還元交付を求める

河川流水占用料とは、地域固有の財産である河川を使っていることで発生する料金のことです。法律上、都道府県に納付されるため、福島県が地域振興のために関係する自治体へ交付金制度を創設し、地域振興を図るよう要望しました。

### ◆県道小林・舘ノ川線未改良区間の整備並びに冬期間の完全通行確保

国道が雪崩や落石等により通行不能となった場合の迂回路となるべく、未改良区間の整備および冬期間の完全通行確保を要望しました。

### ◆平成23年7月新潟・福島豪雨災害の早期復興支援

只見町を襲った豪雨災害や東日本大震災における風評被害が、地域経済や観光客激減に追い打ちをかけています。早期の復旧復興無くして、只見町の将来はないと考え、安全な河川断面の確保、国に対する発電用ダムの恒久的な安全対策の働きかけ、JR只見線の早期全線開通、公共事業の円滑な実施と災害復旧施行年限の柔軟な適用について要望しました。



提案内容を説明する中野議員

# 議会全員協議会における調査活動報告

議会議員全員で、調査研究・協議した内容について、報告いたします。

## 町独自に依頼した 豪雨災害の調査報告

- 現在あるデータに基づき検証するなかでは問題点はなく、「ダムによる堆砂の影響は五礼橋下流にとどまる」（五礼橋上流の堆砂は、ダムによるものではなく自然堆砂）。
  - 現在の河川は平成23年7月の新潟・福島豪雨災害と同等の規模による出水に対応できる流下能力を持たない。
  - 予期せぬ降水量により、規定外の操作が認められている。
  - 情報取得、情報管理体制の不足による、予期せぬ事態への対応に滞った。
  - 「結果に対する考察」や「今後改善、検討していくべきことの提案」等が報告されました。
- 議員からの意見
- 数値や科学的検証のみでは解決できないことがある。もう少し災

害に遭った人たちの話を数多く聞き、今後の災害対応に役立てて頂きたい。

滝ダムの管理区域の堆砂があり、河床が高くなっている場所があることが地域住民から多く聞かれていたなかで今回の水害が起こったやはり河川管理に問題があったのではないか。

通知・通報の遅れが、避難や動産等の整理・移動を遅らせ、被害が増えたのではないか。

## 開発センターの 今後についての報告

● 耐震改修した場合…約6億円（コンクリート内部の鉄筋に錆が発生して、部分的には推定強度を下回る箇所もある）

● 取り壊し、規模を縮小して再建築した場合…RC（鉄筋コンクリート構造）…約4億円、木造…約3・5億円

## ■議員からの意見

今後の町の在り方を含め、地域住民と一緒に協議をして改修か新築かを再検討すべき。

## 館ノ川定住促進用 宅地造成

本内容は、平成25年3月会議において予算特別委員会、町の住宅政策を再考するよう意見を付した事業についてです。

● 只見地区の町営住宅は昭和40年代に建てられたものが多く、老朽化しているため新しい住宅提供について今後検討していく必要がある。

また、只見小学校の児童数が町内で最も少なく、複式学級もあるため、より子育て世代の居住を推進していく策が必要。

● 只見地区では、現状、町所有のまとまった土地があるのは館ノ川地区のみ。農地を転用して町の基幹産業である農業を衰退させるよう

## ■議員からの意見

なことはなるべくしたくない方針。もう少し将来を見据えて町づくりをして行くべきではないのか。

3地区それぞれに同じようなものを建設するのではなく、もう少しコンパクトな地域内に人口を集中させるような居住推進の方がいろいろな面でランニングコストを抑えられ、将来のためになるのではないか。

## 小水力発電事業の 推進について

町内4か所の候補地が挙げられ、それぞれの場所に適した発電用水車の種類・発電能力・費用・発電電力の利用先施設候補等の提案を受けました（今年度1カ所整備予算があります）。

## ■議員からの意見

まだまだたくさん検討する課題があると思われるが、只見町は「自然首都・只見」を掲げ、また認証を目指すユネスコエコパークへの取り組みとして、なくてはならない再生可能エネルギーへの取り組みのため、慎重かつスピード感を持って進めて欲しい。



# 町民からの陳情・請願

## あの陳情の行方と結果



黒谷入、船木吉正宅の道路状況の視察

### 採択の理由

### 採択

黒谷入地区の船木吉正宅への町道整備に関する陳情

本件は、冬期間に除雪をしている町道まで約20数メートルを自力で道付けをしたが、高齢になり毎年難儀をされている状況であり、ブルドーザー除雪が可能な道路整備を望むものであります。当委員会での現地調査を実施した結果、高齢者世帯での

除雪作業については、大変な労力を費やされるものと考えられます。高齢者が安心、安全な生活を送られるためにも豪雪地帯における一軒家対策として、ブルドーザー除雪が可能な道路整備の必要性があるものとして採択しました。

### 採択

### 採択の理由

町道「下福井根木屋線」龍泉寺～沢口間の拡幅改良に関する陳情

本件は、陳情の町道の幅員が狭くカーブになっているため、日常の通行に支障をきたしています。特に冬期間となるとさらに幅員が狭くなり、見通しがきかなくなるうえ、車のすれ違いができなくなる状態となります。スクールバス等も通り、地区にとっては重要な路線であり安全通行ができるよう拡幅改良を望むものであります。

当委員会の現地調査の結果、陳情の道路は、幹線用水路に沿って造った道路であるため、曲がりくねっておりさらに狭い状況であります。特に冬期間は、見通しが利かなく危険な状態となることがかがえましました。陳情区間の道路改良が進めば危険な状態が回避でき、安全でスムーズな日常的な通行ができるものと判断し採択しました。

### 採択

### 陳情書取り下げを採択

農道橋「田沢向農道橋」の早期復旧のお願いについて



町道「下福井根木屋線」黒谷龍泉寺～沢口間の視察

本件は、3月1日布沢区長から陳情がありました。復旧の見通しが立ったため4月23日に取り下げの要望が出され、妥当と判断し採択しました。

## 石橋明日香議員

# 町職員の採用年齢は 引き上げることになったか？

——職員採用を40歳以下とする **町長**

**石橋議員** 12月会議での一般質問に  
て触れさせていただいた、町職員の  
採用年齢引き上げについて、その後  
の検討段階ないし、結論は。

**町長** 平成26年度採用職員から対  
象年齢を40歳以下とする。保育士は、  
すでに引き上げた年齢で公募中であ  
る。

# 冬が厳しく、車社会である只見 町に住むことの不利を解消する 取り組みは？

——子育て支援など  
さらなる財政出動を検討する

**石橋議員** 住民負担が多大な冬季の  
除雪費用や暖房費、公共交通機関が  
ないに等しく、どこへ行くにも遠い  
この町でのガソリン代等は、居住す  
る条件として不利である。こうした

負担は若者世代や特別低収入ではな  
い世帯にとっても同様に負担であり、  
積極的に定住促進を働きかける難し  
さがある。町の取り組み、および県  
や国への補助・税制上の働きかけな



石橋明日香議員

どを通して、この不利さを軽減して  
いく意志はあるか。

**町長** 保育料の低減策や中学校卒

# ユネスコエコパークに向けての 町並みづくりは？

——川の景観修復、集落景観の  
保存策を講ずる

**石橋議員** ユネスコエコパークに向  
けてどのような町づくりを行い、町  
の活性化や観光誘客を図るのか。地  
元資源を活用した只見らしい圧倒  
的に綺麗でエコな町並みづくりのた  
めの取り組みは。

**町長** 伊南川流域の景観修復を実  
施する。雪食地形やモザイク植生を  
望め、水辺域にはユビソヤナギなど

業までの医療費無料化、各種検診の  
無料化・助成はすでに実施している。  
ただ、ガソリン代等の直接的な支援  
は好ましくない。働いて得るとい  
う営みを経て生活向上に繋がる施策を  
考えていく。地域の底上げ、地域活  
性化・産業振興・住民福祉の向上が  
大切である。I・U・Jターナーの  
定住環境の充実や子育てを支援する、  
さらなる町独自の財政出動を平成26  
年度に向け検討していく。

の山地河畔林があり、写真撮影や写  
生、ハイキングやサイクリング等レ  
クリエーション利用が期待される。  
伊南川右岸の県道周辺の森林・景観  
整備を進める。また、地域の自然景  
観に溶け込む形で、歴史的に形成さ  
れた家屋、集落の景観をできるだけ  
維持保存する対策を講じていく。

# 大塚純一郎議員

## 平成23年7月29日新潟・福島豪雨災害における早期の復旧、復興に当たり、今後の只見町としての対応、姿勢を明確に示せ

### ——只見川洪水検証業務の委託契約の報告ができる状況で示したい 町長



大塚純一郎議員

**大塚議員** 只見町の今後、5年後、10年先を見据えた、今取り組まなければならぬ最重要かつ最優先課題を何と捉えておられるのか。

**町長** 第六次只見町振興計画で示された町の方針をより具体化するため、只見地域の豊かな自然環境と、それを背景に形成された地域の伝統

文化産業を大切にし、地域の自然環境、天然環境を持続可能な形で活用するユネスコエコパークの事業を推進している。

**大塚議員** 豪雨災害の復旧、復興の道も半ばの状態、町長は町民に見える形で、これからの只見町の進むべき道・姿を明確に示さなければならぬ。そして、町民の合意・納得・理解を十分得たうえでの政策を議会に諮るべきである。役場庁舎の基本設計の件、開発センターの改修・解体の是非の件、JR只見線の早期復旧要望活動の件、国道289号線早期開通に向けての取組みの件

など、全て只見町の将来にかかわる大切な問題である。

**町長** すべて町の将来がかかった



豪雨災害後、小出・只見間を初めて走ったトロッコ列車(上)と只見駅前で行われた歓迎イベント(下)

大切な課題だと認識している。取組みには、進めるべき道を見える形で町民並びに議会に示し、共有しながら進めていくことが大事である。改めて、ご理解とご協力をお願いしたい。

**大塚議員** JR只見線の早期復旧要望活動の件で、SL復活での観光路線としての活用をアピールして要望する提案は検討したのか。

**総務企画課長** 今後、どこまで可能な数字なのか含めて検討する必要があると考えている。

**町長** それぞれの沿線町村と連携し、いろいろな取組みをしながら、要望活動を強めていきたい。

## 目黒仁也 議員

エコパーク登録後の町の目標が見えない。  
新エネルギーで住民負担の軽減、新たな  
町づくりの「切り口」にすべき

——現在、プロジェクトチームを立ち上げ検討している **町長**



目黒仁也議員

**目黒議員** 大規模ダムによって電気を作り出し日本経済を支えてきた町が、今度は自ら電気を作ってきた町来を考えていくことは、世界ブランドであるユネスコエコパークの町として今後大儀ある事業だ。今後の考えを伺う。

**総務企画課長** 現在進めている只見地区の小水力発電の基本設計をまず報告し、その活用や採算面などを整

理後実施設計に入り、その後はまた皆様とのご協議を踏まえ予算提案したい。

**目黒議員** 10年後の人口予測は厳しく、町民負担が増えることもあり、新エネルギーの取組みは、環境保全に繋がるとともに、行政コストを減らし住民の負担を軽減させる目的で

## スポーツパーク構想の狙いは

——町民の健康と医療費削減、交流人口拡大などに取り組みたい

もある。ユネスコエコパーク登録を機に小水力だけでなく広く目標を持って進めていくべきだ。

**総務企画課長** 象徴的な事業をやっていくことは必要だし、町民の負担軽減を図っていくことは町としても基本と考える。町民との協議をしつつ、取捨選択しながら進めていく。

**目黒議員** 湯ら里を活用した観光・福祉・教育事業が考えられる。ユネスコエコパーク登録を機に視点を交

えた観光の在り方として全町的に子どもへの合宿誘致に参入し、そのために交流拠点として整備した湯ら里の

視察に訪れた高知県梶原町の小水力発電施設



改修も必要。町民の健康と医療費削減を目的に屋内プールも有効。災害時はその水を利用したり、湯ら里を避難所としても位置付けし、「あるもの利用」で様々な課題に対応できる事業の考え方が重要だ。

**町長** 将来を考えた場合、そのような意味を含めスポーツパーク構想を考えている。エコパークという一つの柱と只見町の将来像を描くとき、事業が一つの方向性に向かっているといかない。只見の持続可能を目指してプロジェクトチームを立ち上げて検討している。

# 新國秀一 議員

## 豪雨災害からの復興基金対象事業について 被災者把握と今後の事業計画について問う

—— 関係機関と連携した取り組みを行い、  
議会と協議しながら進めていきたい  
**町長**



新國秀一議員

**新国議員** 復興基金対象事業について、住宅被災に対して、正確な状況把握を町として行っているのか？

**町長** 新潟・福島豪雨災害における被害認定調査については、平成23年8月10日から実施をした。町職員には被害認定業務の経験がなかったことから、災害対応のための自治体間の支援組織である「中越大震災

ネットワークおぢや」の全面的な支援をうけ、内閣府の災害に係る住家の被害認定基準運用指針に基づき実施している。今後の事業計画について、現在、生活再建支援を優先して取り組んでいるが、産業振興等の具体的支援については、今後、議会と協議しながら進めたいと考えている。

**新国議員** 今回の基金については、町長も努力され、県のほうも努力し、電力会社も協力することで、基金の基ができて、町民生活に支障ないという本来の目的を果たさなければならぬ基金である。説明会で、町長が特に認めるものなかに、克雪対策として屋根の改善などという説明

があったと聞いたが？  
**町民生活課長** 町長が特に認めるものということで、克雪対策事業とそれに合致するものは含まれているのは事実である。

は、なぜ外されるのか？  
**産業振興課長** 前回、町単独で商工業者の事業所関係の支援を行った際に、対象外になった部分である。それについては、県のほうの線引き、基準に合わせて、町のほうでも同様の基準によって、その支援の範囲を決定した結果、過去に風俗店が対象外となった経過となっている。今後の豪雨災害復興基金については、検討していきたい。



豪雨災害からの復興はなかなか進まない（小川橋の工事現場）

## 小沼信孝議員

### ユネスコエコパークの取り組みについて

——プロジェクトチームを作り将来町が取り組む課題を検討している。町民にユネスコエコパークの取り組みを理解する機会を作りたい **町長**



小沼信孝議員

**小沼議員** ユネスコエコパーク認定登録に向け動いているようだが、町民の中からは関心の無いお話を聞く。今後の様な取り組みをされるのか。  
**町長** 役場内の若手職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、エコパーク構想の中で将来町が取り組むべき課題を検討し事業に反映させていきたい。対外的には本年度、国内の関連市町村が集まり連携を強化

していく。

**小沼議員** 町民にこの事業に対する認識を持っていただく取り組みの考

えは？

**町長** 一番大きな課題だろうと考えている。町政全般に町民の方々の

### 風評被害対策について

——数々の取り組みをして一定の効果があつたと考えるが、依然根強い風評被害があるのも現状である

**小沼議員** 原発事故から3年目となつて状況が変わつて来ているようだが、同じ取り組みで良いのか。

**産業振興課長** 復興マインドの低下が出てきているので、効果のあるものは継続、効果の薄くなったものは

見直しを図っている。  
**小沼議員** やはり正確な情報をより早く出すことが有効ではないか。  
**総務企画課長** きちんとした情報を公表することに努めていきたい。



臨時アンテナショップでの物産販売  
(千葉県柏市)

意見が必要だと認識している。  
**総務企画課長** 住民の盛り上がり、理解が十分だと言えないところがあつた。町長を中心として積極的にやつていかなければならないと考えている。  
**小沼議員** 町が掲げるユネスコエコパークについて、町民が地域活性化の一環として出てきた意見等を検討委員会に取り上げるべきではないか。

**町長** それが本当のよい姿である、そういった視点を大事に進めたい。

# 佐藤孝義 議員

## ユネスコエコパークの認定への進捗状況と町民への理解度アップの取り組みについて

——住民交流を主体とした地域づくりを実践し、理解度アップにつなげる **町長**

**佐藤議員** 現況と認定後における、地域活動のエコパークへの結びつけ等について伺いたい。

**町長** 来年度を目標に検討を進める機構改革とも関連してくるが、振興計画に位置付けられている集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくりの実践を通じ理解度アップにつなげるよう進めたい。

**佐藤議員** 1. 只見の歴史、文化を



佐藤孝義議員

理解する上で、重点的に只見学を推進して頂きたい。  
2. エコパークの目的である、社会

## 耕作放棄地の活用について

——情報提供や集落支援活動に努める

**佐藤議員** 年々、町も耕作放棄地が増え続けており、里山の原風景が失われている現状をふまえて、都市部の住民、大企業の従業員や大学等を対象に只見町独自の、棚田のオーナー制度のような制度を創設すべきではないか、町の考えを質したい。

**町長** 町としても、棚田オーナー制度は耕作放棄地対策の有効な手立

経済の持続的可能な発展を、産業の振興に結びつける地域住民の勉強が必要ではないか。

として捉え、集落活性化や営農環境保全、担い手確保の視点から、積極的な情報提供や集落支援活動に努めていきたい。

**明和地区センター長** 大学生等の受け入れ支援については、県のサポート事業終了後、集落元気づくり事業で、交通費等に5万円を支出している。宿泊費等の補助については、審

**教育長** 子ども達には、総合的な学習の時間で現在進めているという状況にあり、併せて、只見学を通して、自分達の地域を支えるという、そういう教育に転換をしたいと考える。

また一つには区、各業種、業界、各団体そういう連携の中で町民総参加の学習運動を展開していきたい。

**総務企画課長** 若い職員を中心にプロジェクトチームを今年度から立ち上げている。集落、地域の方、町にいろいろ交流のある町内外の方を含めたそういった総意を結集してやっていく体制を構築していきたい。

査の上、可能であれば考えたい。  
**産業振興課長** 今現在、町内の耕作放棄地は約260町歩あり農地全体の26%で、耕す労働力の確保が課題と捉えている。

**佐藤議員** 町独自制度の確立を。  
**総務企画課長** 自ら考え自ら実践するまちづくり基金も25年度で終わる。26年度に向かつては、機構改革で、住民・地域・集落・地域、そしてグループ・団体等への新たな支援策、財源確保も含めて考えていきたい。

# 藤田 力 議員

## 屋根からの落雪、雪対策の条例設置について

—— 実効性があるのか調査したい **町長**



藤田 力議員

**藤田議員** 空き家が年々増加している。通学路に面していて冬期間、落雪の危険な場所も多い。どう対応されているのか。また、町内の若者が結婚して住宅探しに大変な苦労をしていると聞く。若者定住は、町として大きな課題だと思う。今後の対策について伺いたい。

**町長** 地区センターで空き家の実態調査を進めている。若者定住に情報提供できるように連携した取り組み

**町長**

を行っている。道路に面した危険な空き家対策は、所有者に雪処理を依頼している。不在の場合は、看板設置や道路の一時通行止めをしている。

**藤田議員** 看板の設置や交通止め程度の対応では大変なことになる。一

## 体験もできる民具収蔵展示館の構想を描くべき

—— 今後の施設整備基本構想に加えることを検討する

**藤田議員** つる細工の振興について、高齢化により作り手が減っている。

一方で町内の女性グループが伝統技法を学んで販売までチャレンジしている。講師の確保や作品発表の場の

歩踏み込んで直接所有者に会い改善を求める取り組みは、今までされたのか。

**環境整備課長** 屋根の雪が落ちて事故になれば、所有者の責任となります。町でできることについては、種々対応して行く。

**藤田議員** 二つの取り組みを提案したい。一つは、雪対策の条例を作ること。二つ目は、危険な空き家の所有者に直接会って交渉すること。ぜひ、取り組んで欲しい。

**環境整備課長** 条例については、実効性があるのか調査したい。所有者との面談は、できると考えている。

提供など支援できないか？

**教育長** 講師の確保等には、予算を計上している。

**藤田議員** 教育委員会で構想策定中の民具収蔵展示館は、展示だけでな

く、作ったり体験できる構想を描いて欲しい、ユネスコエコパークにも繋がると思いい提案する。

**教育長** 提案された伝統技術の継承は非常に意義深い。基本構想に加えることを検討する。



伝統技術の継承が求められるつる細工



現在の収蔵庫（黒谷）



## 中野大徳議員

# 豪雨災害被災住民の「生活再 建支援事業」の進捗状況は

——説明不足の方を対象とした  
説明会の開催も検討する **町長**

**中野議員** 豪雨災害被災住民の「生活再建支援事業」の進捗状況について伺いたい。

**町長** 5月9日から15日までの間に5会場で延べ8回の説明会を開催し、102世帯の方にご出席をいただいた。

その後、5月20日から交付申請の受付を開始し、6月14日現在で29世帯



中野大徳議員

の方から総額8236万5000円の交付申請が提出され、このうち28世帯8169万6000円の交付が完了している状況である。勤務の都合などにより日中の来庁が困難な方を対象に、時間外の相談および受付も実施しているところであり、今後も対象者の方々に呼びかけを行い、被災者生活再建新事業のさらなる進捗を図る。

**中野議員** 説明会が終了し、様々な声を聞く。あとは窓口で受け付けられたい。そのような態度は、最終申請までは時間があり、いかなるものかと思う。

**町民生活課長** もう一度聞きたい、

説明不足というような方々を対象にした説明会の開催も検討しなければ

ならないと考えている。

## 町民の聴き取り調査を しっかりと行うべき

——地元の実態を踏まえて、しっかりと  
取り組む

**中野議員** 復興基金の対象である「豪雨災害からの復興事業」の具体的時期および具体策について問う。

**町長** 基金の目的に沿って、今後、効果的な事業の構築を議員各位のご提言もいただきながら検討していく。ご理解、ご支援をお願いしたい。

**中野議員** この支援策については、直接的な支援は最後になる可能性がある。町民の方々の聴き取り調査等、しっかりと取り組んでいただきたい。

**町長** 実態調査を併せながら今後の支援につきまして、それぞれの地

元の実態を踏まえた上で、皆様方の意見をいただきながら、協議をしなから、しっかりと早急に取り組んでいきたいと考えている。



豪雨災害の復旧工事現場（叶津）

## 酒井右一 議員

# 町が発注した新潟・福島豪雨災害の原因調査について、いつ公表するのか

—— 今月中に、議会議員の皆さんに報告する **町長**



酒井右一議員

**酒井議員** 洪水の要因と関係がある電発が調査依頼した日本土木学会は、肝心な項目を除外し調査報告した。それはダム放流の際の住民に対する通知通報と河川の堆砂状態である。また、災害時に為すべきことが決められている。「只見町地域防災計画」によらない町の災害対策があった事、町がダム放流の事前連絡があった事実を住民に広報せず、被害が拡大し

たことを不適切と認め、すべての住民に対し説明し謝罪する考えはないか。

**町長** 只見町地域防災計画に沿って対応することに疑いはない。この計画に沿った通知通報ができなかった事には痛恨の思いがある。

**酒井議員** これを不問にしたままで、今後の目黒町政は住民の信頼を得ることが難しいと危惧する。先の副町長人事の結果も、このあたりが不信の表れではないかと考える。執行機関の補助機関たる副町長が不在では、政策が安定せず町長にとっても住民や議会にとっても大変不幸な事態である。さらに、一般職員は過剰な答弁を強いられている。不適切であったこの問題は、どこかで区切

りをつけないと町は先に進めない。早く決着をつけ、町長も議会も住民も只見町が丸となって前に進むに

は、事態の説明と謝罪がなければ難しいのではないかと。

**町長** 被災した方々に寄り添った対応ができなかったことは、私の大きな反省点として捉えている。この問題から早く脱却できなければ、町民が一つになってまちづくりをして行こうという「声かけ」も虚しくなる。その指摘は十分に受け止めて取り組んでいきたい。町民に対する謝罪については、6月21日の超学際的研究機構の調査報告を待ち判断したい。



甚大な被害を受けた豪雨災害当時の八木沢地区

## 議会（一般質問）を傍聴して

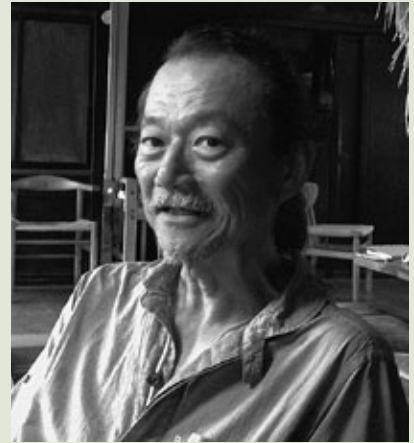
結構ちゃんとまじめにやっているんだな、というのが第一印象です。傍聴に来ている人が全然いないのに少々驚きましたが、そんなものなのではないでしょうか。議会のインターネット配信など取り入れ、少しでも多くの町民に見てもらえるといいのに、と思います。

議会と町当局が対峙してやりあう議会よりも、こんな小さな町なのだから、もう少しお互いに共に町づくりをしていくという意識で建設的な議論をしたらいいと思います。議員が質問しても保守的な

返答しかしない町側と、批判ばかりする議会ではどうなのかな、と思いました。

議員は町民の代表ですが、ちゃんと町民の意見を吸い上げての意見なのか、議員個人のか、議員個人のか、いまいよくわからないと思いました。それでも、今回は特に私が今一番関心を持っている内容での質問が多かったので、興味深く聴きました。

議会だよりでも大体のことは把握できますが、細かい部分についてはやはり実際に聴きに行くことが一番だと実感しました。また絶対聴きに行きます。



いまい ひろし  
今井 博さん（布沢）

2001年に布沢の廃村となった毘沙沢に1ターンされ、家具工房を営むかたわら、今年は一級建築士事務所を開設されました。



## 議員の突撃 インタビュー

町政や議会等に対してどのように考えているのかを町民の方々に議会広報特別委員会の委員が直接お伺いして、さまざまな想いを聴かせていただきました。

町民のみなさんの意見を

# 聴かせてくんつえ!



めぐろ  
目黒ルミさん（坂田）

明和自治振興会のメンバーとして、少子過疎高齢化の地域課題に対し、積極的な取り組みをされています。

**問** 議会に対して、どのようなイメージを持っていますか。

**答** 議会に対しては敬遠していましたが、議会でやっていることが分からないし、見えてこない。町民の代表、町民の代弁者といわれていますが、町民に直結しているところが見えてきません。議会だよりを読んでも分かりにくいです。

**問** 議会に対して望むことはありますか。

**答** 今、只見町でもニートの若者が多くて、多くの知らない若者がいっぱいいます。一度都

会に出て帰ってきた人たちだと思います。また、高齢の親の面倒を見ながら一緒に暮らしている30～40代の独身の人も多くなっています。そういう人たちは、働きたくても働けないでいます。今の行政の制度では、これらの人たちに対する支援策がなく、疎外されているように見えます。生活弱者であるそういう人たちの悩み、課題に対して議員の人たちはもっと耳を傾けて欲しいです。すぐに解決できる問題ではないですが、寄り添っていただくことが大切だと思います。

## 議会の主な動き 平成25年5月1日～7月31日

- 5月9日 会津総合開発協議会南会津地方部会総会
- 5月13日～15日 総務厚生常任委員会視察研修（高知県梶原町）
- 5月20日 新消防体制検討委員会
- 5月22日 南会津地方行政研究会
- 5月23日～24日 議会運営委員会視察研修（山形県）
- 5月25日 市民と議員の条例づくり交流会議（会津若松市）
- 5月27日 会津総合開発協議会定例総会
- 5月28～29日 全国町村議会議長・副議長研修会
- 6月3日～4日 南会津地方環境衛生組合理議員研修（長野県）
- 6月6日 福島県町村議会議長会定期総会
- 6月10日 会津線等対策協議会総会
- 6月13日 議会6月会議（～19日）
- 6月21日 議会6月第2回会議
- 6月24日 災害状況へり視察
- 6月25日 南会津地方環境衛生組合理臨時議会、南会津地方広域市町村圏組合第1回臨時会議
- 6月26日 福島県市町村総合事務組合理議会臨時会
- 6月27日 第64回南会津郡議員大会（下郷町）
- 7月2日 会津縦貫南道路整備促進期成同盟会地方要望（郡山市、仙台市）
- 7月3日～5日 南会津地方町村議会議長会視察研修（鹿児島県）
- 7月10日 県道小林館ノ川線改良促進期成同盟会総会
- 7月11日 全国森林環境税創設促進議員連盟第20回定期総会（南会津町）
- 7月16日 議会7月会議
- 7月17日 会津縦貫南道路整備促進に係る県要望
- 7月17日～19日 経済文教常任委員会視察研修（長野県、山梨県、千葉県）
- 7月18日 JR東日本本社及び国への緊急要望
- 7月22日 議会7月第2回会議
- 7月25日 滝トンネル開通式、八十里越地点開発促進期成同盟会、第47回全会津商工観光推進大会
- 7月26日 八十里越地点開発促進期成同盟会現地視察、第29回両沼地方町村議会議員大会
- 7月29日 「会津を拓く重点要望事項」に係る国出先機関等への要望活動
- 7月30日 後期高齢者医療広域連合議会定例会、只見・金山・昭和县道改修促進期成同盟会総会
- 7月31日 福島県町村議会議長会要望活動（東京都）

### 〈その他〉

委員会開催18回（常任委員会8回、特別委員会5回、議会運営委員会5回）、  
全員協議会4回、本会議10日

## 今回の議会だよりは なじょだったかない？

### あなたの意見が議会を変える

議会活動や議会だより等に関してご意見のある方は、電話・手紙・メール（gikai@town.tadami.lg.jp）でお寄せください。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

※「なじょだったかない？」……只見町の方言で「どうでしたか？」という意味。

## 議会議事録がホームページで見られます

パソコンやスマートフォンから只見町議会のホームページに入っていると議会本会議の議事録を見ることができます。議事録のデータ作成のため議会終了後よりお時間をいただいておりますが、随時更新しておりますのでご覧ください。

<http://www.tadami.gr.jp/gikai/gikaikitop.html>

## ●福島県町村議会議長会の副会長に就任

齋藤邦夫議長が、副会長に選任され就任いたしました。

〈会長〉 八島博正（国見町議会議長）  
 〈副会長〉 齋藤邦夫（只見町議会議長）  
 小山克彦（天栄村議会議長）

## 編集後記

大変暑い日が続いています。御見舞い申し上げます。

さて前回の議会だよりの5ページ「予算の概要」のページに歳出グラフを2つ掲載しましたが、読んだ方から「何を分析しようとしているのか意味が分からない。またなぜ議会広報誌の発行が遅れるのか」など大変貴重なご意見をいただきました。字数が限られていることもあり、説明が足りず、誤解を招いてしまいました。したことを深くお詫び申し上げます。今後、議会広報の早期発行並びにより分かりやすい内容で皆さんに伝えるべく、総力を挙げて取り組んでまいります。なお、議会だよりの内容に直接ご意見を伝えたい方は、ご連絡ください。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

（委員長 山岸フミ子）  
**議会広報特別委員会**

委員長 山岸フミ子  
 副委員長 石橋明日香  
 委員 大塚純一郎  
 委員 中野大徳  
 委員 目黒仁也  
 委員 小沼信孝